

令和元年度全国学力・学習状況調査について

1 はじめに

小学校6年、中学校3年生及び学校を対象として4月18日（木）に実施しました。本年度から形式が大きく変わり、調査開始から続けられてきた、国語と算数・数学のA（主として知識に関する出題）、B（主として活用に関する出題）方式による実施からA・B問題を含めた国語、算数・数学として一体的に構成されました。また、昨年度実施した理科は実施せず、新たに中学校3年生を対象として英語の調査が行われました。従って本年度の構成は次のとおりです。

- ・国語、算数・数学、英語（中学校のみ）
- ・児童生徒質問紙（生活、学習を中心に選択肢で回答する質問）
- ・学校質問紙（学校の実態、指導等について選択肢で回答する質問）



この調査結果について、分析し、保護者や地域の皆様と一緒にになって取り組まなければならないことについて報告します。

| 教科 | 小6 | | 中3 | | |
|-----------|----|----|----|----|-----|
| | 国語 | 算数 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 令和元年度問題数 | 14 | 14 | 10 | 16 | 26 |
| 平成30年度問題数 | 20 | 24 | 41 | 50 | 未実施 |

2 調査の概要

(1) 学力調査の問題数

上表のH30年度小学校国語を例にしますと、大問3問で構成され、問題は別添のよう選択式2問、短答式4問、記述式1問で、構成されています。表の問題数は各教科のA・B問題数の合計です。本年度調査では一体化され、問題数は減少しています。

(2) 児童生徒質問紙

児童の日常の学校や家での勉強や生活について、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」を選択して回答する質問で、小学校58項目、中学校は10項目増えて69項目です。

[例：小中学校共通の質問]

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・将来の夢や目標をもっていますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っていますか。

(3) 学校質問紙

学校の規模、教職員数等の質問の他に、指導方法に関する取組や学校における人的・物的な実態や指導に関する質問で小学校64項目、中学校80項目です。

[例：小中学校共通の質問]

- ・あなたの学校では、保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。
- ・授業の最後に振り返る時間を設けて指導していますか。
- ・学校でテーマを決め、講師を招くなどの研修を行っていますか。

3 児童生徒質問紙について

(1) 地域とのかかわり

羽島郡では「地域のよさ、地域の人々のよさ、地域に暮らすよさ」を学ぶため、積極的に地域から学ぶ活動を推奨しています。「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は下の表のようです。国の平均よりはるかに高く、町や地域が学校と一緒に子どもを育てる努力をしていることが結果に表れています。

| 国のポイント | 国(小) | 郡(小) | | 国(中) | 郡(中) | |
|----------|------|------|------|------|------|-------|
| 地域行事への参加 | 68.0 | 75.9 | +7.9 | 50.6 | 71.7 | +21.1 |

(2) 自分のよさと将来の夢

二学期制では「児童生徒につき、そのよさを積極的に認め、一人一人が自己有用感を味わうことができるようにする。」をひとつの目的にしてきました。「自分にはよいところがあるか」の質問はわずかですが上回ってきましたが、「将来の夢をもってますか」の質問に対しては、小中学校ともわずかですが国のポイントを下回っています。中学校は昨年度より 2.7ポイント伸びましたが、小学校では昨年度比で6.9ポイント下っています。

| 質問肢 | 国(小) | | | 国(中) | | |
|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| | 国(小) | 郡(小) | | 国(中) | 郡(中) | |
| 自分には、よいところがあると思いますか。 | 81.2 | 81.7 | +0.5 | 74.1 | 77.1 | +3.1 |
| 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 | 86.1 | 83.9 | -2.2 | 81.5 | 83.7 | +2.2 |
| 将来の夢や目標をもっていますか。 | 83.8 | 80.0 | -3.8 | 70.5 | 68.9 | -1.6 |

(3) 図書館の利用と読書

羽島郡では図書館教育の充実を図り、学校図書館教育優秀賞では、H28年度、岐南北小学校、H29年度、下羽栗小、H30年度松枝小と最優秀賞を受賞してきました。しかし、「読書は好きですか」の質問に「好き」と回答している児童生徒の割合は全国より低い実態です。

| 質問肢 | 国(小) | | | 国(中) | | |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| | 国(小) | 郡(小) | | 国(中) | 郡(中) | |
| 平日1日あたり30分以上読書している。 | 39.8 | 30.9 | -8.9 | 27.0 | 22.3 | -4.7 |
| 読書は好きですか。 | 44.3 | 40.2 | -4.1 | 38.9 | 29.4 | -9.5 |

4 学力学習状況調査について（全問正解を100とした場合の平均正答率）

（1）全国、県と羽島郡の比較

| | | | | | | | |
|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| 小学校 | 全国 | 岐阜県 | 羽島郡 | 中学校 | 全国 | 岐阜県 | 羽島郡 |
| 国語 | 63.8 | 63 | ○ | 国語 | 72.8 | 75 | ○ |
| 算数 | 66.6 | 65 | ○ | 数学 | 59.8 | 61 | ○ |
| | | | | 英語 | 56.0 | 57 | ○ |

全国と比較してほぼ上下約3ポイント以内におさまっている教科をを○で示しました。昨年度のA・B問題が、国語、算数数学と一体的に構成され、昨年度との比較はできません。

（2）問題と正答率

- ① 小学校で国語、算数の基礎的な問題の正答率で、平均値が国の平均値と差が5ポイント以上あった問題の一部を示します。算数でマイナスの値が高いのは、記述する問題に偏っています。

| （小学校問題） | 問 | 題 | 国平均 | 郡平均 | 差 |
|---------|------------------------|---|------|------|-------|
| | 「調査のたいしょう」（対象）を漢字で書く | | 41.9 | 23.1 | -18.8 |
| | 面積の求め方を言葉や数で書く | | 43.9 | 37.1 | -6.8 |
| | 2つのグラフを比べて言える事を言葉や数で表す | | 52.1 | 42.4 | -9.7 |
| | 加法と乗法の混合した整数と少数の計算ができる | | 60.1 | 66.6 | +6.5 |
| | 示され除法の意味を理解している | | 47.0 | 52.3 | +5.3 |
| | 単位量の求め方を言葉や式を使って書く | | 62.6 | 56.4 | -6.2 |

- ② 中学校で国語、数学、英語の基礎的な問題の正答率で、平均値が国の平均値と差が5ポイント以上あったのは以下の問題です。中学校では「書く」問題について差が小さく5ポイント以内におさまっています。

| （中学校問題） | 問 | 題 | 国平均 | 郡平均 | 差 |
|---------|---------------------|---|------|------|-------|
| | 封筒の書き方を理解して書く | | 56.8 | 62.0 | +5.2 |
| | 反比例の表からxとyの関係を式で表す | | 48.9 | 41.8 | -7.1 |
| | 結論が成り立つための前提を考え説明する | | 53.5 | 58.5 | +5.0 |
| | 資料から最頻値を読み取る | | 57.9 | 45.9 | -12.0 |
| | 文章を読んで説明の大切な部分を読み取る | | 32.8 | 26.8 | -6.0 |





5 調査全体から

(1) 本年度から従来のA・B問題を一体的に構成して実施され、問題数が大幅に少なくなりました。昨年度は小中学校とも理科を対象としましたが、本年度は中学校で英語を対象としました。国の平均ポイントと5ポイント以上差がある問題は大変少なくなり、大半の問題が平均値の上下5ポイント以下におさまっているのが特徴です。中学校国語では「書く」問題の正答率が高いのに比べて、小学校国語、算数・数学及び英語では「書く」問題の正答率が共通して全国と比較して低く、文章で解答する問題は、無解答率が10%以上と高くなっています。

羽島郡では、二学期制にして、資料等の客観的な根拠をもって自分の考えを話すことについて取り組んでいます。その話した事を端的に文章で書くことについて一層の取り組みが必要です。「私が9月にがんばること」など、努力しようとした事に対して、教師が絶えず寄り添って努力を認めたり、結果を「がんばって良かった」「よく努力しました」でなく「どのようにしてがんばり結果はどうであったか、その結果どんな力がついたのか」まで見届け、振り返るように指導・援助することだと考えます。

(2) 深い学びにつながる「学んだことを他の学習に生かしている」「伝わるように工夫して発表しようとしている」「学んだ事を活用できないか考える」などの項目がよくなってきました。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」など、前向きに努力をする児童生徒が増えてきました。一方で「地域の行事等に参加している」「読書が好きだ」など羽島郡が一生懸命取り組んできたことについて、ポイントは大変高いのですが伸び悩んでいます。改訂された学習指導要領の趣旨や二学期制の願いなど改めて学校で再確認するよう指導しています。

(3) 学力学習状況調査においては、小学校では各教科とも「書く」問題に関して正答率が低く、とりわけ無解答の割合が全国の値より低い実態があり、幾つもの資料を関連付けてまとめ、自分のことばで発表することについて努力していますが、文章としてまとめ上げる取り組みにつなげることだと考えています。

(4) 学力調査と学習状況調査の関連を調べると、「将来の夢や目標をもっていますか。」の問いに「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と回答している生徒は学力も低いという結果が見られます。目標をもってコツコツと取り組み、それを皆が認め、自己充実感を味わうことができる指導を続けることが大切だと考えています。

(5) 学校での学習と家庭学習がつながり、ドリルだけでなく、教科書等を使って復習ができるようになってきました。学校の学習と家庭学習がうまくつながり、学んだことが残るような努力を続けることができるよう援助することが切だと考えています。

6 手を取り合って一緒に進みましょう。

- 睡眠時間をきちんととって、「元気に勉強し、運動し、遊べる子」
- ペアやグループ等、仲間と考えあったり、話し合ったりして、課題を解決したりできるようになったり、分かるようになったりしようとする「がんばる子」
- 自分の考えと仲間の考えを比べたり、仲間の思いや考えを聞いたりして、「自分の思いや考えを広げたり、深めたりする子」
- 英語をつかって「進んでコミュニケーションをする子」
- 進んで家庭学習に取り組む、「できたことや分かった事を確かめたり、増やしたりする子」
- 運動場や体育館で「進んで運動する子」

こんな「お子さんの姿」を目指して「子ども」、「保護者」、「学校」、「教育委員会」が手をとりあって、一緒に歩みましょう。

7 保護者の皆様へ

教育委員会と各学校では、「目指す子どもの姿」の実現に向けて、教育活動を進めています。

子どもたちにも「目指す子どもの姿」を示して、「目指す姿にどれだけ近づいたかを、評価項目を決めて、前期中間、後期中間に、4段階で評価をしています。また、教師は子ども達の評価結果から、自身の指導方法を振り返り、改善を図っています。

子どもたちを望ましい姿に導くには、子どもをとりまく全ての大人が「よい姿を見逃さず、その場でほめ、認める」ことが効果的です。ご家庭でもお子様の良い姿を認め励ましたり、国語の音読、キャッチボールなどできることを一緒にしていただいたりしていただけると、ほめることができ、子どもはまた目標をもってがんばれると思います。

お子様のために手を取り合って一緒に歩みたいと考えています。

保護者の皆様のご理解と協力をお願い致します。

